

~入学式号~ Newspace

郡山東高校新聞 速報版84号

編集・発行
郡山東高等学校新聞部
発行人 古川 美羽
編集人 渡邊 純礼
〒963-8832 福島県
郡山市山根町13-45
電話 024-932-0898

入学おめでとう

今日 晴れの入学式 240人が東生に

郡山東高校の令和3年度入学式は今日8日、本校大体育館で行われ、240人が入学した。狭き門をくぐり抜けた新入生は、新しい制服に身を包み、緊張した表情で入学式に臨んだ。

新入生240人は今日8日午後、本校大体育館で行われた入学式に臨み、3年間の高校生活をスタートさせた。入学式では、国歌斉唱に続いて新入生全員が、1人ずつクラフス担任から呼名を受け、中野隆幸校長から入学許可を得た。

続いて、中野校長が挨拶を述べ、来賓の佐藤圭祐PTA会長らが新入生の入学を祝った。多くの祝電も入った。



↑緊張した表情で入学式に臨む新入生(4月8日午後2時35分 本校大体育館)

年担任らがステージに上がり、新入生をはじめ保護者へ紹介された。新入生はその後、各教室で初めてのLHRに臨んだ。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、例年と比べ短縮されたものとなったが、無事に新入生を迎えることができた。

今年の受験倍率は、一般入試が1.35倍、特色選抜が1.47倍であった。今年度から募集定員が280人から40人減り、例年より厳しい受験状況となった。受験を乗り越え、新たに東生となった240人の活躍が期待される。(蒼翔)

新1学年主任の言葉 佐久間正浩先生

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。現在皆さんは、新しい生活への期待と不安でいっぱいだと思います。高校3年間は、長いようで短いですが、この期間に自分の目標や夢に向かって突き進んでください。心の底からやりたいことを見つけた人は本当に強い

です。焦ることはありません。いろいろなことに挑戦し、それが何かを見つけて出してください。私たちがいつでも皆さんのそばにいますので、いつでも相談してください。学習や部活動では、これから先生方からお話を聞く機会が多くなると思いますが、大切な

こと意外とシンプルで、何度も繰り返すことからは分かっていくので、先生方に聞くことでも構いません。学習や部活動に全力で取り組んで充実した3年間を送ってください。

→緊張した様子で合格発表の看板を見る受験生と保護者



	合格
国公立大学	66
私立大学	330
短期大学	20
看護医療	16
専門学校	20
就職	9

4月1日現在(延べ人数)

66人が国公立合格 進学校の实力を見せる

令和2年度卒業生の進学者・就職者数(4月1日現在)は表の通りとなった。(表中の数字は延べ人数)

国立大学は、毎年多くの合格者を出すが福島大学をはじめとして、新潟大学や山形大学、4年ぶりの東北大学、公立大学は福島県立医科大学にも合格者を輩出し、国公立大学の合格者数は延べ66

人となった。また、専門学校にも多くの合格者を輩出し、進学校としての実力を発揮した。進学先・就職先の詳細は、令和元年度卒業生合格結果と共に、職員室のそばの廊下に掲示されている。(蒼翔)

合格者 今後の意気込みを語る

先月15日、東高正門玄関において令和3年度福島県立郡山東高等学校入学者前期選抜合格発表が行われた。正午に合格者が発表され、合格を喜び合う多くの中学生の歓声が響き渡った。また今年度は募集人数の減少や新型コロナウイルスの影響もあり、受験生にとっても大変な高校入試となった。そのような困難を乗り越えた240人の合格者は、今日から東高の一員としての生活を送る。

前期選抜を通過し合格を果たした天吹直矢吹中学校の渡邊拓磨さん(当時中学3年)は「今まで努力してきた結果が実ってうれしかった。高校では勉強と部活動の両立をしよう」と笑顔で今後の目標を語った。また、中島村立中島中学校の鈴木愛奈さん(当時中学3年)は「バレーボールを中学校でもやっていけたため、高校でも続けたい」と部活動の意気込みを話した。郡山市立郡山第四中学校の山岡怜央さん(当時中学3年)は「合格して安心した。今まで関わってきた全ての人に感謝したい。高校では勉強と部活動の両立を目指したい」と今後の目標を語った。郡山市立富田中学校の菊地花奈さん(当時中学3年)は「高校では弓道部に入学し、文武両道ができるようにしたい」と今後の高校生活について意気込んだ。田

東高校舎を探る!

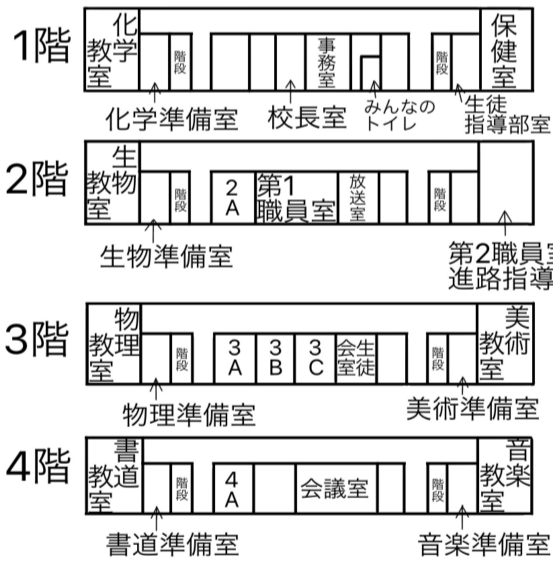
郡山東高校の校舎は、北校舎と南校舎の2棟からなっている。北校舎には左図のように特別教室

が集まっている。1階には校長室や保健室、生徒指導部などがある。階段横では毎週木曜日の放課後に「エル・ハイナ」が来校しパンを買い取ることができる。2階には第1、

第2職員室や放送室などがある。2A教室は主に回収した課題を置くために使用されている。第1職員室には1、2学年の先生、第2職員室には3学年の先生のデスクがある。3階には美術教室、生徒会室がある。4階には音楽教室、書道教室がある。

南校舎は1階が1学年、2階が2学年、3階が3学年の教室となっている。1階中央階段横には自動販売機が設置されており、期間限定の商品も置いてあることがある。近くには購買がありアイスや文房具を買い取ることができる。校舎以外の施設では新聞部や写真部などの部室が集まるマネージメントハウスや、自主学習ができる図書館、調理実習で使う家庭科室のある紫苑館もある。(総来)

郡山東高校-北校舎-



東照手記

中学3年生の夏、郡山東高校の体験入学に参加した。その頃から高校のパンフレットを眺めたいと、冬が近づき、志望校を決定しなければならぬという時期に問題が生じました。三者面談のときに厳しい現実が突きつけられたのだ。担任の先生からは「今の学力では東高合格は難しいと伝えられた。私の言葉を受け入れることができなかった。校内のテストは点数が高く、私は自信を持っていた。しかしそれは受験への気の緩みを生じさせていたのだ。学力テストや新教研テストでは点数は伸びず、担任の先生から東高受験を反対された私は志望校を変更するか悩み続けた。志望校最終決定の日が迫っていた。最後まで迷っていた私に母親は「受験に向けて頑張ってきたことを信じて、東高を受験しなさい」と気持ちを前に向けさせる一言をかけてくれた。私はそれから苦手であった数学を毎日少しずつ勉強し、得意な社会と理科は応用問題を解くというルーティン徹底した。受験当日、他校の受験生の中、緊張で震えが止まらなかったが、テスト開始後、なぜだか問題に集中し解くことができた。合格発表の掲示が張り出され、自分の番号を見つけたときはうれしかった。「点滴穿石」という四字熟語に、小さな力でも根気強く努力を続けていけばいつか成功することができるという意味がある。この言葉のように中学3年生の頃の私は困難に向かい、勉強を続けることで無事合格できた。今思うと志望校を変更せずに受験に挑んでよかったと思っている。私は2年生となった。約1年半後の大学受験も第一志望校合格を目標にこれから頑張っていきたい。(冬彦)

